

ニュージーランド出身の代表と日本人奥様の二人三脚の Tender Loving Care な農業経営 (T. L. C F A R M S 有限会社)

<法人の概要>

所在地：高知県黒潮町

設 立：平成23年5月（農業参入時期：平成24年3月）

資本金：500万円 売上高：850万円

役 員：2人（農業従事者2人）

経営面積：14ha（うち所有0ha、借入14ha）

作付作物：水稻（飼料米、餅米含む）、野菜（ジャガイモ、ブロッコリー等）

加工品：モチ加工



とても気さくなご夫婦



有機農業での水稻作付け

<営農を開始するまでの状況>

代表のウエイン氏は、個人的にT. L. C英会話塾を運営しており、塾の運営を行いながら自家用農作物を作る程度であったが、近隣の土地所有者から貸したいという依頼が増え、年々面積が増えていった。

認定農業者になろうとしたとき、外国人では認定されるのが難しいと考え、奥さんの実家の建設会社が廃業するのに合わせ、その法人を農業を目的とする法人として変更・引き継ぎ、英会話塾と同名のT. L. C F A R M S（有）として本格的に農業経営を開始した。

<特徴的な取組>

T. L. C F A R M S（有）は黒潮町と四万十市において人・農地プランの中心経営体として位置付けられている。

水田の収穫後から播種期までの保全管理を怠らず、地域の平均収量を大きく上回る収獲量を実現している。

ハウスで育苗を行い、育苗後のハウスにおいてジャガイモ、ブロッコリー等の野菜を生産している。

売り先は学校給食、お弁当屋、直販等、自らアプローチを行っている。

冬は、正月用ののし餅を生産、販売している。

<今後の農業経営の展開方向>

英会話塾をやめ、4年後には20haまで経営面積を規模拡大していく。四万十市の農業倉庫の周辺に農地を集約していく。

<今後農業参入を進めようとしている企業へのアドバイス>

人の話をよく聞くということ。地域の農家の方や役場の方、地主さんの話をしっかり聞かないといけない。お祭りに出たりとか地域に密着することが必要。



「今年は雨ばかり」とポツリ

※Tender Loving Care : ウェイン氏曰く「かゆいところに手が届く」
優しい愛情のこもった世話という意味です。